



岡山市・瀬戸内市との意見交換報告

駅員の存在が社会貢献に重要である

行政として国・JRに働きかけていく

地本は、9月29日に瀬戸内市で武久市長他2名、島津市議、厚東市議、みんなで守る赤穂線の会から3名、三宅副委員長・青山書記長が出席し、そして、10月25日には岡山市で岡山市6名、鬼木市議、天野委員長・青山書記長が出席し、意見交換を行いました。

(1)岡山市

- ・岡山にはJRを利用して沿線（市外）から来てもらうことを考えていきたい。
- ・ダイヤ改正以降、利便性が低下して岡山に通勤、通学している人は減っている。
- ・駅員の存在は社会貢献という意味で大きいものがある。



- ・3月のダイヤ改正について秋ぐらいにJRから情報をもらえるなら対応ができることがあるが、そうした情報がない。
- ・コロナ終息が見えないこと

駅体制施策を提案 要員4名減に

東岡山・児島駅窓口閉鎖に

駅の安全・サービス低下に

11月2日、中国統括本部は、「駅の販売体制の見直しについて」を提案した。

①対象駅

東岡山駅・児島駅

②所要員

東岡山駅 △3
児島駅 △1

運輸管理係 △3
運輸管理係 △1

実施時期
2023年3月1日以降

この提案は、東岡山駅と児島駅に遠隔MVを導入し、窓口閉鎖とする内容です。地本は、今後も利便性の低下・駅の安全、サービスの低下などを会社に対して追及していき、遠隔MV設置駅になる駅周辺に宣伝・チラシ配布行動を展開していき、関係自治体に対しても働きかけを今後強めて行きます。

(2)瀬戸内市

- ・では、JRの施策に共感できることはある。
- ・バスについては市として無料乗車デーなど、臨時交付金で対処しているが、JRについては沿線の幅が広いので対応できない。
- ・交付金などについて、国に要望していくアプローチが必要であると思っている。

- ・JRのダイヤ改正でのサービス低下に懸念している。
- ・県と連携して要望を伝えることをしてきた。
- ・1時間に2本あった列車が1本になったことで不便になっている。
- ・駅舎の活用（喫茶店など）をして駅利用促進を考えている。

武久瀬戸内市長

- ・こうして取り組んでいることに心強く思っている。
- ・民間の会社もあるので（瀬戸内市には）市の力がどう及ぶのかと思っている。
- ・国民の税金で作りに上げてきた鉄道だが民営化され、声が届かなくなってきた。
- ・行政として国、JRに働きかけていく。
- ・15億円かけて駅駐輪場、

駐車場、駅前トイレ整備、駅前ロータリー整備をしている。

・学割の電子化をしてもらいたい。障害者割引のカード化はできないか。

みんなで守ろう赤穂線の会

・署名を1439筆集めた。JR岡山支社に提出していく。

・公共交通は大事であり、運動している。微力であっても無力ではない。

厚東瀬戸内市議

・子供にとって、定期券の購入がしにくくなっている。この事が当たり前になってはいけない。

島津瀬戸内市議

・署名を取り組んでいるが、国交省にも求めていきたい。

・利用者を増やすために取り組んでいきたい。

最後に

・運転区間の短縮や駅の無人化が改善されることは、厳しいが自治体や地元住民との関係をつくり、一緒に取り組むをしていくことは今後の運動に生かされるものである。引き続き、できる取り組みを模索していきたい。